

第21回天ヶ瀬ダム再開発事業景観検討委員会 議事要旨

開催日時：平成24年12月3日（月）13:30～15:30

開催場所：宇治市 宇治公民館

委員：近藤委員長、吉田委員、北村委員、吉水委員、山本委員、中村委員、
川端委員（代理：島峯）、松浦委員（代理：岡田） 以上敬称略

事務局：琵琶湖河川事務所

[審議概要]

天ヶ瀬ダム再開発事業実施に伴い必要となるトンネル式放流設備について、景観整備の観点から各委員より意見及び助言をいただいたものである。VRCG（ヴァーチャル・リアリティ・コンピュータ・グラフィックス）により、対象施設周辺の景観を様々な角度・視点から御覧いただいた。また、同じVRCGにより道路通行者の視線から連続的に変化する景観（シーケンス景観）を御確認いただいた。これらに基づき、活発な御議論をしていただいた。

- (1) 第20回議事要旨の確認
- (2) 景観整備コンセプトの再確認
 - 2-1) 宇治川開発の歴史（近代史）
 - 2-2) 景観整備コンセプトの再整理
 - 2-3) 景観整備コンセプトの総括
 - 2-4) デザインイメージの確認
 - 2-5) 再開発事業による景観の確認・共有（VRCG）
- (3) 次回以降の予定

[議事概要（総括）および対応方針]

- (1) 第20回議事要旨の確認
 - ・新白虹橋付近より天ヶ瀬ダム本体を含めた景観が眺められるような宇治の観光にとって好ましい適当な場所の検討をするよう助言を頂いた。
- (2) 景観整備コンセプトの再確認
 - 2-1) 宇治川開発の歴史（近代史）
 - ・宇治の歴史は宇治在住市民にとっては意味深い思い出があるため、宇治の近代史について補足するよう助言を頂いた。
 - 2-2) 景観整備コンセプトの再整理、および
 - 2-3) 景観整備コンセプトの総括
 - ・周辺との調和を考える上で、VRCG（連続動画）により、流入部が非常に目立つことを含め、どの視点場が重要であるかということについて確認していただいた。その上で、「景観整備コンセプトの総括」を今後の検討の進捗に合わせ再考

して行くことを助言いただいた。

2-4) デザインイメージの確認、および

2-5) 再開発事業による景観の確認・共有

- ・吐口部周辺は山の斜面が背景にあり近隣には宇治発電所や志津川発電所があり全体的なおさまり感から、吐口部へのレンガ模様の使用を検討案に加えるよう助言いただいた。
- ・流入部を取り囲む風景が湖面というオープン的なものであり、構造物のインパクトを吸収する等といったものがない。また、距離の遠近により視点からの見え方も異なることから、距離と構造物の規模による相互の関係性から景観影響を把握することが必要で、「強調」を「融和」に近づけるといった場合には、構造物のデザインおよび周辺の環境を整備することでどのようにカバーするのが今後の検討課題となる、という助言を頂いた。

以 上